

Horizon Cloud on Microsoft Azure

クラウドからの柔軟な仮想アプリケーションの提供

概要

VMware Horizon® Cloud Service™ は、VMware が提供するマネージド インフラストラクチャや Microsoft Azure といった複数の展開オプションを選択可能な拡張性のある専用のクラウド プラットフォームを使用して、機能豊富な仮想デスクトップや仮想アプリケーションを提供します。このサービスは、クラウド環境向けに最適化されたアーキテクチャをサポートしており、デバイスや時間を問わず、Windows 仮想デスクトップや仮想アプリケーションを簡単に提供できるほか、柔軟なサブスクリプションモデルにより、容易な導入と運用、迅速な拡張が可能です。

Horizon Cloud on Microsoft Azure

Horizon Cloud on Microsoft Azure を使用することで、仮想デスクトップと仮想アプリケーションの提供を簡素化することができます。単一のソリューションで、クラウド リソースを活用しながら、仮想アプリケーションや仮想デスクトップを Microsoft Azure で容易に展開、管理できるため、容易な展開プロセス、シンプルな管理、クラウド向けに構築されたアーキテクチャにより、導入と運用までの時間を短縮できます。また、アプリケーションの利用率が変動する企業向けに、分単位での柔軟な従量課金制も用意されています。

現在、ビジネス環境は日々変化しています。エンド ユーザーは、オフィスや自宅など、あらゆる場所から企業のコンテンツにアクセスし、使用するデバイスは、Windows だけでなく iOS、Android、Mac など多岐にわたります。業務に必要な特定のアプリケーションのサポートが IT 部門にリクエストされることもあります。残念ながら、予算の縮小やスタッフの削減により合理化が進む IT 部門では、特にセキュリティや規制準拠への対応も行うとなると、エンド ユーザーの要求に応えることは非常に困難です。

これらの要求に対応するため、IT に精通した企業では、すでにデスクトップやアプリケーションの仮想化を採用しています。しかし、従来の仮想デスクトップや仮想アプリケーションの展開は、専門の IT スタッフを必要とする、時間のかかる大変な作業です。仮想デスクトップや仮想アプリケーション環境をすべてセットアップするには、数日、時には数週間もの時間がかかり、また、継続的なメンテナンスやアップデートも必要です。そのうえ、ほぼすべての環境がオーバー プロビジョニング状態になり、コストの増加につながります。

Horizon Cloud on Microsoft Azure を導入することで、Microsoft Azure の既存のインスタンスを Horizon Cloud の制御プレーンに接続し、セキュアかつ包括的なクラウドホスト型ソリューションとして仮想化された Windows アプリケーションやデスクトップを提供することが可能です。Horizon Cloud のメリットであるサービスの自動アップデートや直感的な管理インターフェイスを活用しながら、VMware の仮想アプリケーションとデスクトップを世界各地の Microsoft Azure のデータセンター リージョンで運用できます。

VMware の優位性

Horizon Cloud on Microsoft Azure は、クラウドの活用を進める企業に最適なクラウド サービスです。Horizon Cloud の特長として、単一の制御プレーンから仮想アプリケーション/デスクトップを提供、管理するインフラストラクチャを柔軟に選択できる点が挙げられます。このクロスクラウドのアプローチにより、複数の展開オプションから選択できるほか、ユースケースの変更や従業員の移動、経済状況の変化に応じてオプションを切り替えることが可能です。

Horizon Cloud on Microsoft Azure は、ワークスペースをクラウド サービスとして提供できるよう設計されており、次のような独自の特徴を有しています。

マルチクラウドの柔軟性：Microsoft Azure のパブリック クラウド インフラストラクチャや VMware が提供する完全なマネージド インフラストラクチャなど、任意のインフラストラクチャを選択して、すべてを Horizon Cloud の制御プレーンから管理できます。

統合クラウド管理：IT 部門は、デスクトップ、アプリケーション、ポリシーを、複数のクラウドにわたって一元的に管理、構成できます。クラウドベースの管理により、サービスの自動アップデート機能を備えた SaaS のように環境を利用できるほか、環境全体を統合管理することで、高い専門知識を必要とせずに導入と運用を短期間で進めることが可能です。

仮想アプリケーションと仮想デスクトップ：クラウド リソースを活用しながら、Windows 10 を含む仮想アプリケーションや仮想デスクトップを Microsoft Azure で提供できます。

グラフィックを活用した可視化：優れたグラフィック機能により、Microsoft Azure GPU 上でグラフィックを多用したワークフローを表示させることができます。

優れたユーザー環境：モバイル クラウド向けに開発されたプロトコル、Blast Extreme により、ネットワークや作業場所、デバイスを問わず、優れたデスクトップ環境をエンド ユーザーに提供できます。スマートフォン、タブレット、低価格 PC、Mac など、サポートしているデバイスはさまざまですが、VMware Blast Extreme または PCoIP のいずれかのディスプレイ テクノロジーを動的に選択できるため、極めて要求が厳しく遅延が大きい環境であっても、最適なユーザー エクスペリエンスを提供できます。

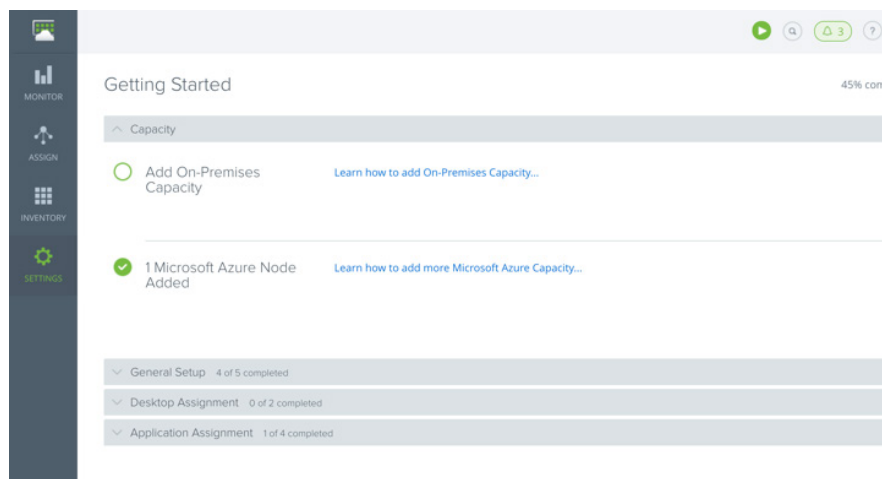


図 1：Horizon Cloud on Microsoft Azure での仮想デスクトップと仮想アプリケーションの提供

Horizon Cloud on Microsoft Azure のメリット

Horizon Cloud on Microsoft Azure が提供するメリットは多岐にわたります。

マルチクラウド環境

- Microsoft Azure といった BYO インフラストラクチャと VMware が提供する完全なマネージド インフラストラクチャの両方を Horizon Cloud の制御プレーンから柔軟に管理

Microsoft Azure のキャパシティに応じた、低コストな従量課金制

- パブリック IaaS の従量課金制と Horizon Cloud サービスのサブスクリプションを組み合わせ可能

グローバルでの展開

- Microsoft Azure Government を含め、世界中の Microsoft データセンター リージョンにわたる展開を 1 つのインスタンスで管理

容易な展開

- Horizon Cloud のサービス コンポーネントを自動的に展開
- Microsoft Azure Marketplace との連携により、IT 部門が Windows イメージをインポートして必要なエージェントを自動的に適用

詳細情報

詳細については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.vmware.com/jp/products/horizon-cloud-virtual-desktops.html>

製品の仕様およびシステム要件の詳細については、VMware Horizon Cloud Service のオンラインドキュメントを参照してください。

管理の簡素化

- Horizon Cloud を常に最新バージョンに維持
- ブルーグリーン アップグレードにより、Microsoft Azure 上のコンポーネントのアップグレードをスケジュールに従って 5 分未満で実行
- デスクトップの健全性アラートにより、リソースの使用状況を把握可能
- RDSH ファーム サーバと仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) の電力を設定したスケジュールに合わせて管理することで、コストを最適化し、仮想マシンのパフォーマンスを向上
- エージェント自動更新 (AAU) により、Horizon Cloud の管理コンソールからエージェントを容易に更新

優れたアーキテクチャ

- クラウド向けに構築されたマルチテナント アーキテクチャ
- クラウドの制御プレーンはデータ パスとは異なるため、不必要な遅延を防ぎ、ビジネス継続性を維持
- VMware Unified Access Gateway™ を Microsoft Azure 上に自動的に展開

セキュリティ

- RADIUS ベースの 2 要素認証をサポート
- VMware NSX® Cloud のサポートにより、VMware Horizon Cloud on Microsoft Azure 上に展開した仮想デスクトップへのマイクロセグメンテーションの適用が可能

シンプルな提供

- Unified Access Gateway が付属
- VMware User Environment Manager™ が付属

